

～「チーム華頂会」とは?～

華頂会グループが在宅サービスに特化して結成した部門です。地域に貢献できるよう、様々な企画、活動をして参ります。

琵琶湖胃腸病院への回帰

当院の前身は「琵琶湖胃腸病院」でして、当時のことをご存知の方は少ないと思っております。しかし、外来診療をしていますと、ご高齢の患者さんのお口から、時々「胃腸病院」とのお言葉が聞かれます。なかには、「父(母)がこの病院で手術をして頂きました。」などと耳にすることもございます。

私自身は、昭和40年代後半の頃に、当院の外科医の奥様(精神科医)にご指導をいただいていたしまして、当院に隣接した宿舎を表敬訪問したこともとあり、「胃腸病院」について多少知っておりました。また、当時、内視鏡検査では、当院は先進的な技術開発もなされていて、中心的に仕事をしておられた医師が、この病院で行ってこられた研究業績から大学医学部で教授となられ、内視鏡学会でも中心にご活躍されたと聞き及んでいます。

現在の当院では、昨年春に、新たに消化管内視鏡検査システムを新調致しました。昨年1月に新たに着任されました消化器専門医の戸田医師にご活躍頂くためです。なお、同じく消化器専門医の伊藤教授(滋賀医科大学より派遣)が火曜日に外来診療して頂いており、お二人は神戸大学医学部の同窓でもおられて、互いに協働して内視鏡検査を実施して頂いております。これで、より安全な診療が可能になりました。

更に、本年4月からは、もう一人の消化器専門医の井濱(いはま)医師が新たに着任され、消化器診療の幅が一層広がって参りました。

毎週、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日と内視鏡検査の実施が可能ですので、上部(食道、胃、十二指腸)のみならず下部(大腸)内視鏡検査も実施可能ですので、症状のある方はもちろんですが、無症状の方でも、ピロリ菌感染が疑われる方、検診で異常を指摘されている方々の受診をお待ちしております。

消化器疾患の治療法の進歩は著しく、特に早期がんでは、内視鏡で、比較的簡単にがん組織を切除することが可能になっています。進行癌で、胃や大腸を切除しますと、様々な好ましくない術後の症状に悩まされることとなります。私たちの体には無駄な部分はなく、切除する・ことはできるだけ避けたいものです。早期に検査を受けて健康維持に役立てて頂きたいと存じます。

ある意味で、当院は「琵琶湖胃腸病院の復活」のような状況ですので、現状をご認識いただいて、当院を積極的にご利用頂きますよう、よろしくお願い致します。

琵琶湖養育院病院 院長 高橋伯夫

琵琶湖養育院病院 消化器内科のご案内

鼻からもOK!

午前診察 9:00~12:00 午後診察 13:30~16:00

毎週月曜日	午後	井濱医師
毎週火曜日	午前	伊藤医師
	午後	戸田医師
毎週木曜日	午後	戸田医師

高出力LEDと画像処理で
早期発見!
フジフィルムの最新カメラを導入しています。





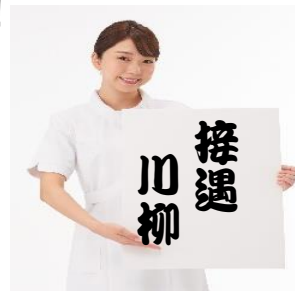
接遇開発プロジェクト 始動！



患者様・利用者様アンケートや関連施設職員からの指摘を基に、全施設を上げて「接遇」に特化した取り組みを行っていきます！

美化運動

施設の周りからきれいに！職員総出でゴミを拾っています



詠んでみました

「接遇」に対する意識を高める一環として
部署ごとに「接遇川柳」を考案。
投票で順位を決定しました！

第一位

笑顔とは 言葉も越える おもてなし

第二位 心とは 挨拶ひとつで 変わるもの

第三位 マスク越し 伝わる気持ち まなざしで



あいさつ運動



朝夕の出退勤時には
「おはようございます！」
「おつかれさまでした！」
職員同士から、積極的に
あいさつをしています！



患者満足度調査

昨年度末、透析室・放射線科・リハビリを受診された患者様を対象に満足度調査を実施しました
10段階で「8.55」の高評価をいただきました。この結果に奢らず、9点台目指して切磋琢磨していきます！
「トイレが少ない」「駐車場が少ない」「うるさい！」など貴重な意見を多数いただきました。

みんなの日曜日 プロジェクト

「病院・介護施設でも日曜日は外食気分を！」
華頂会では日清医療食品と協業し、特別メニューを提供しています。

